

特集陳列

# 東洋の青磁

Thematic Exhibition Celadon of Asia

2012 年 5 月 15 日 (火) ～ 7 月 29 日 (日)  
東京国立博物館 本館 14 室

Tuesday, May 15 - Sunday, July 29, 2012  
Tokyo National Museum



| 展示リスト |    |              |      |             |             |           | (●は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品) |     |         |         |
|-------|----|--------------|------|-------------|-------------|-----------|------------------------|-----|---------|---------|
| No.   | 指定 | 名称           | 地域   | 産地          | 時代          | 伝来        | 所蔵者                    | 寄贈者 | 寸法 (cm) | 当館所蔵番号  |
| 1     | ●  | 青磁下燕瓶        | 中国   |             | 南宋時代        | ・13 世紀    | 公益財団法人アルカンシエール美術財団蔵    |     | 高 23.5  |         |
| 2     |    | 青磁蓮花文瓜形瓶     | 朝鮮   |             | 高麗時代        | ・12 世紀    |                        |     | 高 24.6  | TG-46   |
| 3     |    | 青磁蓮弁文蓋付碗     | 朝鮮   |             | 高麗時代        | ・12～13 世紀 | 横河民輔氏                  |     | 総高 11.4 | TG-2018 |
| 4     |    | 青磁蓮唐草文水注     | 朝鮮   |             | 高麗時代        | ・12 世紀    |                        |     | 長 21.8  | TG-83   |
| 5     |    | 青磁透彫唐草文箱     | 朝鮮   |             | 高麗時代        | ・12 世紀    |                        |     | 長径 22.6 | TG-2208 |
| 6     |    | 青磁象嵌梅竹蒲柳水禽文瓶 | 朝鮮   |             | 高麗時代        | ・12～13 世紀 |                        |     | 高 34.2  | TG-2171 |
| 7     |    | 青磁橘          | 中国   | 古越州         | 三国 (興)～西晋時代 | ・3 世紀     | 横河民輔氏                  |     | 長 19.3  | TG-2109 |
| 8     |    | 青磁虎子         | 中国   | 古越州         | 西晋～東晋時代     | ・3～4 世紀   |                        |     | 長 23.2  | TG-2331 |
| 9     |    | 青磁鉄斑文蛙形壺     | 中国   | 古越州         | 東晋時代        | ・4 世紀     |                        |     | 高 15.8  | TG-2174 |
| 10    | ◎  | 青磁四耳壺        | 中国   |             | 唐時代         | ・7 世紀     | 法隆寺伝来                  |     | 高 26.4  | N-121   |
| 11    |    | 青磁花文水注       | 中国   | 越州窯         | 北宋時代        | ・10～11 世紀 | 個人蔵                    |     | 高 21.0  |         |
| 12    |    | 青磁蓮弁文碗       | 中国   | 越州窯         | 北宋時代        | ・11 世紀    | 広田松繁氏                  |     | 口径 13.2 | TG-2437 |
| 13    |    | 青磁碗          | 中国   | 耀州窯         | 五代時代        | ・10 世紀    | 横河民輔氏                  |     | 口径 11.9 | TG-1320 |
| 14    |    | 青磁碗          | 中国   | 耀州窯         | 五代～北宋時代     | ・10～11 世紀 | 島田謹一郎・みつ子氏             |     | 口径 13.6 | TG-3004 |
| 15    |    | 青磁唐草文香炉      | 中国   | 耀州窯         | 北宋時代        | ・11～12 世紀 | 広田松繁氏                  |     | 高 10.9  | TG-2168 |
| 16    | ○  | 青磁蓮池文深鉢      | 中国   | 耀州窯         | 北宋～金時代      | ・12 世紀    | 鈴木榮一氏                  |     | 口径 23.0 | TG-2897 |
| 17    | ◎  | 青磁輪花鉢        | 中国   | 南宋官窯        | 南宋時代        | ・12～13 世紀 | 横河民輔氏                  |     | 口径 26.1 | TG-1234 |
| 18    | ◎  | 青磁琮形瓶        | 中国   | 南宋官窯        | 南宋時代        | ・12～13 世紀 | 広田松繁氏                  |     | 高 19.7  | TG-2167 |
| 19    |    | 青磁盤          | 中国   | 南宋官窯        | 南宋時代        | ・12～13 世紀 | 武吉道一氏                  |     | 口径 23.9 | TG-2894 |
| 20    |    | 青磁鳳凰耳瓶       | 中国   | 龍泉窯         | 南宋～元時代      | ・13 世紀    | 松永安左エ門氏                |     | 高 31.5  | TG-2329 |
| 21    |    | 青磁香炉         | 中国   | 龍泉窯         | 南宋時代        | ・13 世紀    | 広田松繁氏                  |     | 高 9.6   | TG-2166 |
| 22    |    | 青磁尊形瓶        | 中国   | 龍泉窯         | 南宋～元時代      | ・13 世紀    | 毛利家伝来                  |     | 高 24.7  | TG-2968 |
| 23    | ◎  | 青磁茶碗 銘馬蝗絆    | 中国   | 龍泉窯         | 南宋時代        | ・13 世紀    | 三井高大氏                  |     | 口径 15.4 | TG-2354 |
| 24    |    | 青磁花卉文八角有蓋壺   | 中国   | 龍泉窯         | 元時代         | ・14 世紀    | 繭山順吉氏                  |     | 総高 41.0 | TG-2349 |
| 25    |    | 青磁印花牡丹文鉢     | ベトナム |             | 13～14 世紀    |           | 的場實氏                   |     | 口径 16.7 | TG-2082 |
| 26    |    | 青磁蓮花文稜花平鉢    | タイ   | シーサッチャナーライ窯 | 15 世紀       |           | 山田義雄氏                  |     | 口径 34.1 | TG-2903 |
| 27    |    | 青磁菊印花文鉢      | 日本   | 伊万里         | 江戸時代        | ・17 世紀    | 個人蔵                    |     | 口径 32.2 |         |
| 28    |    | 青磁牡丹文大皿      | 日本   | 鍋島          | 江戸時代        | ・18 世紀    |                        |     | 口径 27.6 | G-5733  |

青磁は東洋独特のやきものです。窯を使って素焼きの土器を焼成する際に、燃料の灰が器物の表面に降りかかるとガラス化して自然釉を形成します。この現象に着目して、中国では早くも商時代前期 (紀元前 16 世紀頃) に人工的に釉薬を施したやきものの生産が始まりました。灰釉とよばれるこの釉薬が改良を重ねられ、むらなくなめらかで青い色を呈しているのが青磁なのです。

青磁は後漢時代に成熟の水準に到達しました。これより元時代までの中国陶磁史は青磁を軸に展開したといっても過言ではありません。青磁は価値観の上でも頂点に位置し、宋時代には官窯が置かれて宮廷向けの青磁が焼かれました。

青磁の技術はやがて近隣諸国へと伝わります。とくに朝鮮半島において高麗時代 (918～1392) に高度の発達を遂げ、独特の透明感をたたえた青磁は「翡色」の名で賞賛されました。

青磁の青い色は、何か特殊な成分が加えられたことによる発色ではありません。胎土や釉薬に含まれる微量の鉄分が、窯の中で酸素の供給が制限された状態で焼成されることにより呈する色です。青磁は色や艶に産地や時代の特色があらわれます。この特集では中国、朝鮮、ベトナム、タイ、そして日本の青磁を一同に展示いたします。各地で独自の発達を遂げた青磁の美をお楽しみください。

## 東洋の青磁

平成 24 年 5 月 15 日発行



©2012 東京国立博物館

執筆：今井敦 (東京国立博物館)  
翻訳：東京国立博物館国際交流室  
撮影：塩野直茂、村松徹、藤瀬雄輔 (東京国立博物館)  
編集・発行：東京国立博物館  
制作：竹林舎



# Celadon of Asia

Celadon wares are ceramics unique to Asia. When unglazed pottery wares are fired in kilns, the ash from the fuel falls onto the surface of vessels and vitrifies into a natural glaze. The finding of this phenomenon led to the production of artificially glazed porcelain in China, as early as in the first half of the Shang dynasty (ca. 16th century BC ). This production method, called ash glaze, underwent improvements to create celadon, a glaze presenting even and smooth blue colors.

Celadon ware reached a level of maturity during the Eastern Han dynasty. From then until the Yuan dynasty, it can be said that the history of Chinese ceramics developed around celadon ware. Celadon was also regarded as most prestigious in terms of cultural values. In the Song dynasty, imperial kilns were established to produce celadon ware for the imperial court.

The art of celadon ware then traveled to neighboring countries. Particularly in Korea, high technical sophistication was accomplished during the Goryeo dynasty (918–1392), and the distinctively transparent celadon from this time was prized for its color of jade.

The blue color of celadon does not derive from a substance specifically added to the glaze. It comes from the miniscule amount of iron included in the clay or glaze, which is transformed by being fired in kilns, where the supply of oxygen is limited. Characteristics of celadon wares according to the site and period of production can be observed in their color and luster.

This exhibition introduces celadon from China, Korea, Vietnam, Thailand, and Japan. We hope visitors enjoy the beauty of celadon, which developed in styles unique to each region.



No.17 Bowl, celadon glaze



No.13 青磁碗

中国 耀州窯 五代時代・10世紀 横河民輔氏寄贈

白化粧が施され、釉薬が総体に掛けられています。耀州窯では五代にこのような青磁が焼かれていたことが窯址の発掘調査により明らかになりました。



No.1 青磁下燕瓶

中国 南宋時代・13世紀 アルカンシエール美術財団

青磁花入の最高の優品として知られます。丸く張りのある胴から頸が伸びた器形は、茶人によって下燕とよばれ、落ち着きとともに堂々たる風格をそなえています。

No.20 青磁鳳凰耳瓶

中国 龍泉窯 南宋・元時代・13世紀 松永安左工門氏寄贈

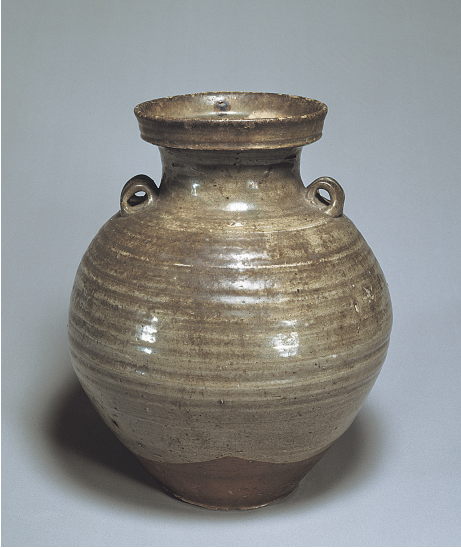
頸の左右に鳳凰をかたどった耳が付き、均整のとれた姿を示しています。茶席の花入として珍重されました。厚く掛けられた粉青色の青磁釉がとくに美しい作品です。



No.23 青磁茶碗 銘馬蝗絆

中国 龍泉窯 南宋時代・13世紀 三井高氏寄贈

足利義政が所持していたおり、ひび割れが生じたため、中国に送ってこれに代るものを求めたところ、もはやそのようなものはなく、鋸で止めて送り返されてきたという伝承があります。



No.10 青磁四耳壺

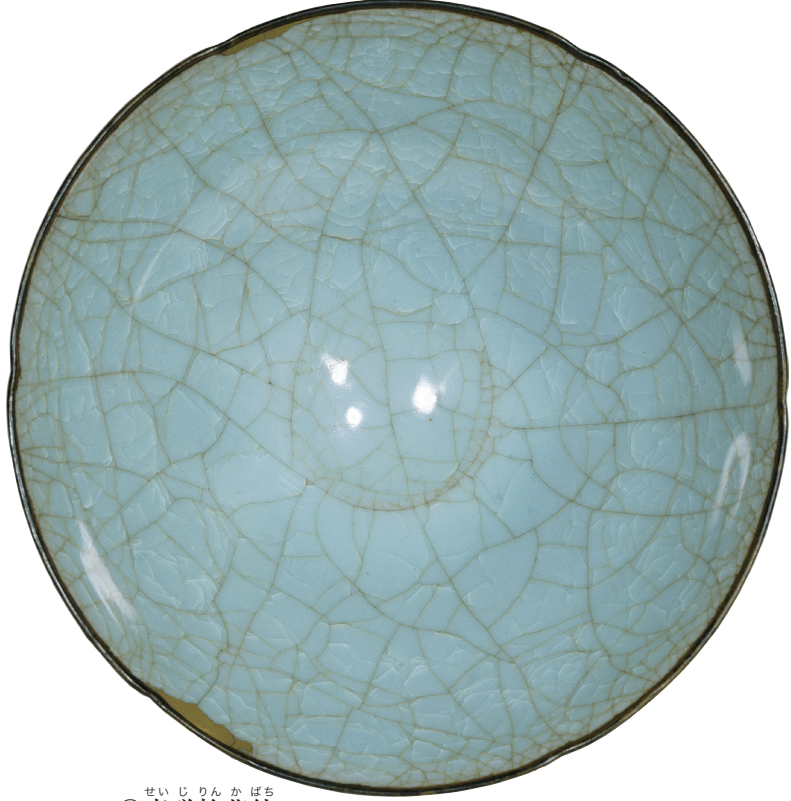
中国 唐時代・7世紀 法隆寺伝来

丁子とよばれる香料の容器として法隆寺に伝来しました。来歴がわかる世界最古の伝世陶磁器として有名です。

No.5 青磁透彫唐草文箱

朝鮮 高麗時代・12世紀

青磁釉は透彫の各所に溜まってステンドグラスのような効果をあげています。高麗青磁独特の透明感をたたえた釉色は「翡色」とよばれました。



No.17 青磁輪花鉢

中国 南宋官窯 南宋時代・12-13世紀 横河民輔氏寄贈

深く幽邃な色の釉薬に、貫入とよばれるひび割れが縦横に走っています。まさに人工の稀玉といってよいでしょう。



No.28 青磁牡丹文大皿

日本 鍋島 江戸時代・18世紀

日本随一の磁器の産地である有田を領内にもつ鍋島藩は、藩窯を置いて将軍家への献上品などを焼きました。轆轤成形の後の型打ちによって牡丹の意匠を浮かび上がらせています。



No.26 青磁蓮花文稜花平鉢

タイ シーサッチャナーライ窯 15世紀 山田義雄氏寄贈

タイのシーサッチャナーライ窯では、透明感のある明るい青緑色の釉が施され、力強い彫り文様があらわされた青磁が焼かれました。